



## 技師

# 当院のリハビリテーション科について

## リハビリテーション科技師長 萱野 稔

こんにちは、今年4月にリハビリテーション科技師長として赴任した萱野です、よろしくお願ひします。都市景観賞に輝く建物、東海地区でトップクラスの医療水準を誇るスタッフがそろった活気ある病院に勤務することができて、光栄に思っているところです。

当科は医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と助手の総勢32名です。毎朝ミーティング申し送りの後、新規担当患者のグループ検討会を行い、画像や検査データ・依頼情報などから訓練方法や注意点を確認します。この時の先輩や同僚のアドバイスが、安全に最適な訓練を行なう事にとっても役立ちます。そして、発症直後・手術直後の患者さん（半分以上がそうなのですが）には開始前に必ず担当看護師に状況確認をしてから訓練を開始しています。人工呼吸器や酸素・麻酔・点滴などの管がたくさんつながった状態でも、医師・看護師と情報交換しながら行うことにより、訓練ができ早期離床を可能にしています。

作業療法士は、通常の訓練とは別に、病院での生活ができるだけスムーズにできるように病室での日常生活動作の指導介入を

行っています。頸髄損傷など重度障害の人が入院された時には、入院日から夕食が上手に食べられるように即日病室訪問して食事動作指導や自助具製作などを行っています。言語聴覚士は、コミュニケーションと嚥下摂食の専門家としてNST（栄養サポートチーム）や摂食機能改善活動に参加しています。

当院の特徴のひとつに、脊髄損傷のリハビリテーションがあります。脊髄損傷は一般的には重度障害者とされている人たちですが、当院の卒業生の多くが社会復帰して仕事やスポーツに励んでいます。そういう人たちに講師となっていただき、苦労や喜び生活のノウハウなどを入院中の患者さんや地域の方々に話していただく社会生活講座を開催していますので、機会があれば参加してみてください。

最後に一つだけお願いがあります。リハビリテーションは、受けるというよりも行なうところです。リハビリテーション科を受診することがありましたら、自主訓練の方法や退院後の注意点、わからない事などなんでも担当の技師に質問して、指導に従って積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。